

The image shows the cover of the October 2010 issue of the magazine 'waraku'. The title 'waraku' is at the top left. The main title '和樂' (Wa-geki) is written in large red calligraphy at the top right. A woman in a black sleeveless dress stands in the center, smiling. Large red flowers and green leaves are overlaid on the background. At the bottom left, there's a vertical column of text and a small graphic of a traditional Japanese patterned box. The right side features more text and a small quote.

ここが  
地産地消



**部屋** すべて洋室。  
ベッドの枕側の壁面にある  
小さな棚に飾られた、  
花々が季節を感じさせる。



**風呂** ガラス張りの  
バスルームは露天感覚。  
シャワーブースが別にあり、  
洒落たアメニティも魅力的。



**食事** イタリアンをベースに和の技法を駆使した、オリジナル料理が大評判。食事だけの利用もできる。



**地産** 地元文化を  
大切にする宿では砥部焼以外に  
夜の照明として近隣の工芸品、  
内子町の和ろうそくを販売している。



**もてなし** レストランのカウンターは、シェフの仕事が間近に見られる特等席。食通にはたまらないもてなし。

愛媛県伊予郡砥部町宮内1622-7  
☎089-960-7501  
●宿泊料金(1泊2食付き、2名1室)

- 宿泊料金(1泊2食付)、お手すり料金(滞在時の1室分)  
/¥56,700へ、「ヴィラ」¥77,700~(税込み・サ別)
- チェックイン15時(最終20時)・チェックアウト12時
- 客室数10

●アクセス】JR予讃線「松山」駅より車で約30分。  
車の場合、松山自動車道「松山IC」より約15分。  
<http://www.tobe-resort.com/>

<http://www.tobe-resort.com>



広々とした空間にウッドデッキがある「ヴィラ」。周囲に灯りがないので、夜は降り注ぐ星や湖面に映る月がくっきり見える。



上／自家菜園のオープンテラスでは、  
とれたての野菜を中心とした朝食を、  
いただくこともできる。好天の日のみで、  
1日1組限定。宿泊予約時に確認を。  
下／周囲の自然環境と調和した、  
「ヴィラ」の入り口。奥には、だれにも



湖を見下ろす位置に立つ離れ形式の宿泊棟。その奥の小高い丘の上に、シェフをはじめスタッフ全員が携わる自家菜園がある。

湖と森を望む  
豊かな自然の中で  
この地で育まれた  
美食を堪能

# TOBE AUBERGE RESORT

地産地消の  
和樂な  
隠れ宿